

平成31年1月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成31年1月10日(木) 午後2時
2. 場 所 泉佐野市役所4階 庁議室
3. 出席委員 教育長 奥 真弥
教育長職務代理者 北浦 秀樹
委 員 南 一早枝
委 員 畑谷 扶美
委 員 山下 潤一郎
委 員 中村 スザンナ
委 員 赤坂 敏明
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
教育部長 溝口 治
スポーツ推進担当理事 谷口 洋子
教育総務課長 檜葉 浩司
教育総務課教職員担当参事 十河 統治
教育総務課給食担当参事 藪 剛司
学校教育課長 木ノ元 直子
学校教育課学校指導担当参事 和田 哲弥
学校教育課人権教育担当参事 古谷 秋雄
青少年課長 山隅 唯文
スポーツ推進課長 山路 功三
生涯学習課長 大引 要一
(庶務係) 教育総務課長代理兼係長 田倉 元
5. 本日の署名委員 委 員 北浦 秀樹

議事日程

(報告事項)

報告第1号 教育委員会後援申請について

報告第2号 教育委員会後援実施報告について

議案第1号 平成30年度泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について(学校教育課)

(午後2:00開会)

奥教育長

ただ今から1月の定例教育委員会議を開会いたします。

本日は、1名の方から傍聴の申し込みがございました。許可したいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

よろしいですか。それでは、傍聴を許可します。

本日は、委員全員が出席されておりまして、会議が成立しております。

本日の会議署名委員は、北浦委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、本日の審議に入ります前に、12月定例教育委員会議の会議録について、ご確認をお願いいたします。皆様方で何かお気づきの点がございましたら、よろしくお願ひいたします。

よろしいでしょうか。それでは、12月の会議録の確認は終わらせていただきます。赤坂委員には、後ほど署名の方よろしくお願ひいたします。

では、これより本日の審議に入りたいと思います。

先ず、報告第1号「教育委員会後援申請について」を議題といたします。報告をお願いします。

檜葉教育総務課長

教育長専決により教育委員会の後援名義使用を承認した事業について、報告資料第1号に基づいて説明。

継続5件の事業内容について一括で報告

奥教育長

ただ今の後援申請の報告につきまして、ご意見・ご質問等がございましたら、お願ひいたします。

中村委員

3番目の和歌山大学との共同研究事業ですが、具体的に、本市の園や学校との関わりがあるのでしょうか。

木ノ元学校教育課長

具体的な実践というのは、和歌山大学の附属小学校・中学校の事例がベースになっておりまして、直接的な参加はございません。近隣の市町村も事例の成果を共有するという意味で、後援名義の申請をいただいています。

奥教育長

28年度に和歌山大学と泉南地区の教育委員会とが総合的、包括的に連携するということで協定を締結しまして、和歌山大学の教育資源等を活用させていただいたりということがありますが、本市では、今のところ、何か一緒に調査したり、教育活動を支援していただいたりということはありません。

中村委員

泉州地区ボランティア会という分科会がありますが、本市の先生方が、その会に参加して勉強しているということもないのですか。

奥教育長

多分無いですね。

しかし、包括的に連携しておりますので、継続で、後援名義の申請を出していただいたということで、今後、支援いただくということもあるかと思います。

よろしいですか。他ございませんか。

南委員

4番目の泉佐野市人権教育研究大会ですけれども、開催場所が日根野中学・日根野小学校となっているのは、2回開催という意味でなくて、この6つの分科会を中学校、小学校に分かれて行うということですか。

古谷学校教育課人権教育担当参事

今回、会場が2ヶ所になりまして、6つの分科会が2つの学校に分かれて開催されるということでございます。

奥教育長

隣接していますので、会場となる教室の大きさもあるかと思います。

他ございませんか。

無いようでございますので、報告第1号は終わります。

続きまして、報告第2号「教育委員会後援実施報告について」を議題といたします。報告をお願いいたします。

檜葉教育総務課長

報告第2号「教育委員会後援実施報告について」でございますが、今回、報告件数は7件で、いずれも後援内容は後援名義でございます。説明の方は、割愛させていただき、一覧表の配布を以て報告にかえさせていただきます。よろしく申し上げます。

奥教育長

報告第2号について、ご意見・ご質問ありましたら、お願いいたします。

よろしいでしょうか。

無いようでございますので、以上で報告の第2号を終わります。

続いて、議案に移ります。本日は1件でございます。それでは、議案第1号「平成30年度泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について」を議題といたします。説明をお願いします。

木ノ元学校教育課長

議案第1号「平成30年度泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会」について、ご説明させていただきます。

泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会は、泉佐野市附属機関条例第3条及び泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会条例第1号にもとづく機関です。また、当該条例第3条により、委員の任期は2年となっております。

泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会は、いじめ問題等に関係する機関との連携を図り、学校、市教育委員会、警察署及び市長部局等により構成し、市の基本方針に基づく、取組みを効果的かつ円滑に推進していくための情報交換及び連絡調整を、また、市の基本方針の内容について、PDCAサイクルにより点検し、必要に応じた見直しを行うことを目的としています。

次に、当該協議会にご参画いただく方々について、ご説明させていただきます。

泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会条例第2条では、いじめの防止等に関係する機関及び団体の職員のうちから、15人以内を教育委員会が任命することと定められています。また、国が制定しています、いじめ防止対策推進法第14条では、「地方公共団体は、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図るため、条例の定めるところにより、学校、教育委員会、児童相談所、法務局又は地方法務局、都道府県警その他の関係者により構成されるいじめ問題対策連絡協議会を置くことができる。」と明記されています。

以上を踏まえ、別紙案のとおり、「泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会」委員の候補者案をお示しさせていただきます。

なお、空白の箇所でございますが、教育委員会を代表し、当該協議会会長職として、教育委員の皆様から1名の方のご選出をお願いいたします。

又、今後の予定でございますが、本日委員選出のご承諾を賜った後、1月29日（火）午後3時30分より市役所4階庁議室におきまして、今年度の会議を開催いたします。会議は今後、年間を通じて2回程度開催する予定としております。

最後に、学校での重大事態に係る調査を行う「泉佐野市いじめ防止対策審議会」について、今年度、新たに立ち上げる予定ではありますが、来月以降に別途ご提案をさせて頂く予定としております。

説明は、以上です。ご審議の上、泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会会長のご選任を含め、泉佐野市いじめ問題対策連絡協議会委員のご承諾を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

奥教育長

いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認に関する案件で、会長にあたる教育委員会さんからの代表については、この場で決めさせていただくこととなりますが、まずは、ただ今の説明について、ご質問・ご意見等をお願いします。

北浦委員

この対策連絡協議会というのは、2ページの図では、どこに記載されているのでしょうか。重大ないじめ事案が起こってしまったときに、その対応を円滑に進めるためのものと考えてよろしいのでしょうか。

木ノ元学校教育課長

フローチャートの一番上の部分が、今回提案させていただいております「いじめ問題対策連絡協議会」になります。大きな括弧としまして、防止等対策及び啓発予防のための組織と、重大事案が発生した時の組織と二つに分かれるような形になりますが、今回提案させていただいております協議会は前者で、関係機関とのいじめ防止に向けた取組みというところの、法第14条に基づく組織を立ち上げるということで、ご理解いただければと思っております。

奥教育長

事案が起こって何か対策するというのではなくて、関係者が集まって情報交換を行うなど、普段から実態を共有し合いながら、事前防止のための論議を行う、そういった組織ですね。

木ノ元学校教育課長

今回、委員としてお示しさせていただいている機関といたしまして、概ね国が指定しているところになりますが、まず、市長部局では人権推進課と子育て支援課、教育委員会では青少年課となっております。人権推進課につきましては、子どもも含めたホットダイヤルや色んな相談機関を担当している所管課として、子育て支援課及び青少年課につきましては、年代は違いますが、子ども、園の担当課ということで参画してもらいます。続いて、法務局ですが、子ども向けの異性へのホットラインですとか、人権関係の相談機関を設けているところですので、そういった意味でご参画いただきます。岸和田子ども家庭センターにつきましては、幼児虐待を含め、子どもへの支援を行な

っていただいている機関として参画いただきます。都道府県警の泉佐野警察署の方も虐待等での関係で参画いただきます。あと、学校を代表しまして、小学校と中学校と2名の校長先生にご参画いただいているのですが、この末広小と第三中の校長先生は市生徒指導研究会の担当となっております、そういう意味合いで今回、ご参画いただいております。以下の方々は、地域及び保護者の代表ということで、ご参画の方をお願いしております。

なお、お名前を記載させていただいている方につきましては、ある程度の内諾は頂戴しているということになっております。

以上、よろしく申し上げます。

奥教育長

各機関より参画していただく委員さんについては以上でございます。

何かご質問とかご意見ございませんか。

中村委員

この会議に出席した時は、具体的な事例のお話を聞かせていただいて、このメンバーの皆さんと協議していくということになるのでしょうか。

木ノ元学校教育課長

おっしゃるとおりです。まずは、現在の市立小中学校の現状をご報告させていただくとともに、それぞれの機関が、それぞれの立場で、こういった取組みをしているのかという情報を共有できる場とすることが、大きな目的の一つとして考えております。

赤坂委員

委員の構成については、各分野から、それぞれ代表される方を選ばれているとは思いますが、この連絡協議会を立ち上げている他の自治体の委員構成を拝見しますと、弁護士や医療関係の分野の方を入れられている所が結構ありました。この泉佐野のメンバーの中には、そういった分野からは入っておりません。また、人権協会から3名の方が委員に入っていますけれども、3名でなく、代表してお一人でもいいのではないかと、その代わりに先ほど述べました別の分野の方、特に臨床心理士や医師といった方を入れるという選択もあったのかなと思います。

そういった分野の方の人選も選択の中にあり、検討されたのかどうかということをお聞かせいただきたいのですが。

和田学校教育課学校指導担当参事

まず、臨床心理士や医師を入れるかどうかについてですけれども、この連絡協議会の方でなく、審議会の方では、医師、弁護士、臨床心理士、社会福祉士、それから大学教授の分野でということを考えて、ただ今、人選というか調整中でありまして、そちらでは、何か起こった時の対応とか、第三者としてのご意見を賜る時に、専門的な学識というかご意見をいただけるようにと考えております。

本日ご提案させていただいている協議会につきましては、いじめ防止対策推進法第14条に「学校、教育委員会、児童相談所、法務局または地方法務局、都道府県警、その他の関係者により構成される」とありますとおり人選させていただき、専門的な知識をもった方は、近隣市町村を調べさせていただいても、そういった方は審議会の方に入っておられるということで、今回の協議会には参画いただけないというところがございます。

木ノ元学校教育課長

人権協会から3名の参画につきましては、それぞれ、長年にわたり、子どもへの教育であったり、フォローであったり、支援であったり、教育委員会と連携しながら、取り組んでいただいている歴史があり、1名代表でなく、各地区からご参画をお願いしたいということで、今回3名とさせていただいている次第です。

奥教育長

よろしいですか。

赤坂委員

15名ほどの中で色々人選されていますので、外れる分野もあれば、手厚く入る分野も無くはないので、取り立てて異論はないのですが、そういう分野も考慮された結果、この15名になったのかというところをお聞かせいただきかったですので、質問させていただきました。

それと、この協議会の結果や途中経過が、色々な段階で教育委員会の方に報告され、議案として取り上げたりする可能性もあるかと思います。その時に、教育委員の中から1名が委員に入ったら、そこから上がってきたものについては尊重しなければならないという空気になり、審議しにくいのではないかと思います。

その点は、どうお考えなのでしょうか。

木ノ元学校教育課長

この協議会は何かを審議するというのではなく、それぞれの機関がどういう動きをされているのかという情報交換と、どういう形で協力できるのかというような、防止に向けての取組みというところが目的になりますので、おそらく、今後、会議を開催した後は、こういった意見で集まりましたという報告事項として、教育委員会の方に報告させていただくような形になると思います。

いじめの重大事案が発生した時は、別になりますので、今回のこの協議会につきましては、審議いただくといったところは、おそらく出てこないのかなと思います。

赤坂委員

審議でなくても、意見を忌憚なく出していただく場合、その当該の教育委員さんに少し遠慮とかがあるのではないかという心配が少しあるのと、その教育委員さんが、その時に、その席にいてはまずいのではないかということも言えるのではないかと思います。

木ノ元学校教育課長

この委員の選定につきましては、正直、赤坂委員がおっしゃるように、当課としましても、かなり検討したところがございます、一つは教育委員さんに会長職をとということで、教育委員会を代表するという意味でお願いさせていただいているのですが、当初、社会教育委員の方という案もございました。

しかし、いろんな機関の方々が参画していただいて、いろんなお立場から情報をいただきますので、できれば、教育委員会を代表するという意味で、教育委員さんをお願いできればということで、もうこれはお願いという形になりますが、どうぞご理解ご協力の程、よろしくお願いたします。

赤坂委員

一応、任命する立場ですから、それが会長職に座っていいのかなという気はします。これは意見として言っておきます。

奥教育長

他の委員さんはいかがでしょう。

任命するのは教育委員会なのですが、色んな方面からも参画いただいて、情報交換するなかで、教育委員会としても教育委員の中から委員を出して、自由に発言できるということが必要だと思います。会長に立つかどうかは別としまして、必ず、教育委員さんは入っておくべきだと私は思っております。

赤坂委員

委員に入るにしろ、他の方に会長をお願いし、教育委員はフォロアーの立場である方がいいのではないかなと思います。「教育委員会が任命しておいて、会長が教育委員というのは如何か。」ということにつながりかねないと思います。

奥教育長

協議会を設置している他市の教育委員会の前例はありますか。

木ノ元学校教育課長

各市、様々なのですが、例えば、本市ではこども部の部長にあたる行政職が会長という市もありますし、教育委員の方々が入られている場合もあります。

奥教育長

教育委員会がイニシアティブをとるという意味で、教育委員さんが主になって会長職に座るとするのは一つだと思います。この協議会は教育委員会に設置しますので、やはり、教育委員会が主体となってやる方が、私は良いのかなと思います。

規定では、会長及び副会長については、委員の互選によってこれらを定めるというふうになっているのですか。

木ノ元学校教育課長

はい、そうです。

奥教育長

それでしたら、そういう形にさせてもらうということではいかがですか。

赤坂委員

協議会において、互選で会長、副会長を決めるのが原則ですから、この案は、こういうのもありですよということと理解しときます。

奥教育長

それでは、最終的には、規定どおり会長、副会長については委員の互選ということで、よろしくお願ひします。

いずれにせよ、どなたか教育委員さんから委員に入っていただくということでございますので、この場で決めたいと思いますが、如何でしょうか。ご意見ありましたらお願ひします。

赤坂委員

行政の方は別として、皆さん、会長とか団体の代表の方とかがなっておられるので、教育委員の中ででしたら、職務代理者さんにお願ひしたいと思います。

畑谷委員

赤坂委員さんがおっしゃったように、偉い方ばかりなので、この中で教育委員会を代表して意見が言える方といったら、なかなか分かっていないと言えないような気がしますので、長く委員を務められている方がいいのではないかと思います。

北浦委員

今言われたように、校長先生であったり、団体の長であったり、そういう方が揃っているなか、おそらく、互選といっても、教育委員が会長となる方向が強いかと思いますので、荷が重いと思います。

奥教育長

この啓発及び予防に関する連絡協議会は、もちろん協議はさせてもらうのですが、何かこう結論的なものを出していただくということではなくて、色々とお出された意見を総括していただくというふうな役割でございますので、何かこう最終的にこれでという判断をしていただくということは多分ないと思います。

木ノ元学校教育課長

現在、子ども安全対策会議が長い歴史の中で開催されている訳なのですが、それとほぼ同様の形式と考えております。

具体的には、先ず、事務局、学校教育課の方から、市立小中学校の現状を報告させていただき、それに対して、当該年度にどのような取組みを実践して、その効果がどのようなものであったかということ、必ず毎回説明させていただくことになるかと思えます。そして、その内容について、それぞれの機関の方々からご意見やアドバイスをいただきます。

あとは、情報交換の場ということで、それぞれの機関の方から、どういう取組みをして、どういう事例がありましたよとか、今後こういうイベントを開催しますので、よかったら参加してくださいとか、そういった情報を交換させていただく形となります。

教育委員さんにおかれましては、教育委員会全体の中でお考えになられているようなことを、必要な時だけコメントさせていただくという形となりますので、そういうイメージでご出席いただければと思っております。

奥教育長

会議の時、司会とかは事務局の方でしてくれるのですか。

和田学校教育課学校指導担当参事

教科書の審議会と一緒に、説明等は事務局からさせていただき、審議する時に会長さんに進行いただくということになりますが、事務局の方からバックアップさせていただきます。

奥教育長

おそらく、今回の協議会で審議することは無いでしょうね。

和田学校教育課学校指導担当参事

そうですね。協議ですから無いと思います。

奥教育長

いかがですか。

代表の方は、後程決めていただいても結構ですけど。

北浦委員

とりあえず、委員構成の案だけ通すということで、お願いします。

奥教育長

この件に関しまして、他にご質問、ご意見ございませんか。

無ければ、委員のメンバー構成については案のとおりとさせていただきます、教育委員さんから選出いただく1名につきましては、後ほど決めさせていただきますということでよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご異議がございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定しました。

次に、その他で連絡事項等、何かございますか。

スポーツ推進担当理事

昨年12月の末に、スポーツ交流事業としまして、今年度で2回目となります、スキー体験会を実施しましたので、概要についてご報告させていただきます。

事業の趣旨につきましては、昨年と同じで、市内在住の小中学生が日常では体験出来ないスポーツを体験することにより、スポーツへの興味や関心を高めて、本市におけるスポーツの振興を図るとともに、生涯スポーツ社会構築への取組みの一環とすること、また、相手先の児童・生徒との交流及びスポーツ推進委員さんとの交流を図るということを目的にしております。

次に、事業の内容ですけれども、昨年は長野県の駒ヶ根市というところに行かせていただいたのですが、駒ヶ根市と特産品協定を締結できなかった関係もありまして、今回は、特産品協定を結ばせていただいている市町のなかから、市町内にスキー場があるということで、登別市に行ってみました。スキー場はサンライバスキー場というところで、初心者の方が行くにはいいスキー場でございます、カルルス温泉という温泉もあるということでした。

今回も、昨年と同じように、小学校5年生から中学校2年生まで男女各10名の定員ということで、10月号の広報で参加者の公募をいたしました。昨年は定員を割ったのですが、今回は女子13名、男子14名の応募があり、定員を少し上回りました。バスでしたら、何とか全員参加できたかもしれない人数でしたが、飛行機に乗っていく都合上、余分に座席を抑えることができず、公開抽選をさせていただきました。その後、12月1日に説明会を開催し、本人と保護者の方に来ていただき、説明をさせていただきました。直前にインフルエンザ等で行けない子どもさんが出まして、最終的には計18名ということになりました。

期間の方は、冬休みに入ってからということでしたので、12月26・27・28日の3日間、2泊3日ということで行ってまいりました。

飛行機で新千歳に着いて、そこからバスで1時間少しのところにある登別市の温泉街にあるホテルに宿泊しまして、そこから20分ぐらいバスに乗って、サンライバスキー場に行きました。

元々、登別市さんの方は、北海道の中では雪が少ないということで、訪問前に「雪がなかったらどうしますか。」と心配していただいていたのですが、ちょうど寒波が来まして、北海道の上の方はかなり大雪になりましたが、登別の方は程良い感じの雪でございまして、市内の方もそんなに積もっているという状況ではございませんでした。

資料を1枚めくっていただきますと、体験会の様子を撮影した写真を付けさせていただきます。

先ず、上の方ですが、今回、登別市のスポーツ少年団が交流にすごく力を入れてくださいます、同少年団の児童・生徒が18名も参加してくれました。写真は、子どもたち同士で、市の特徴であったり、特産品であったり、情報交換をしているところです。下の方は、向こうで計画していただいた、そり大会の様です。チームは泉佐野と登別の混合で、A B C Dのチームに分かれて行い、なかなか盛り上がりおりました。最後は、集合写真を撮影しました。

3日間、非常に強い寒波が来まして、現地の方も「寒いですから。」と言うぐらいでした。最高気温がマイナス5度というなか、スキー場ではマイナス9度ぐらいでした、子どもたちも、そういうマイナスという気温を体験しました。それだけ寒かったので、雪質の方は新雪でかなり良く、コースもなだらかで、人も少なかったので、初めての子どもさんも2日目にはリフトに乗って、どんどん滑っておりましたので、アンケートも「楽しかった。」というふうになっておりました。

奥教育長

スポーツ交流事業、スキー体験会の報告でした。私も報告会に参加させていただいたのですけれども、感想とかもしっかり言ってくれていましたし、子どもたちが主体的に参加してくれたなど強く感じました。

ご意見ありましたらお願いします。よろしいですか。

では、他ございませんか。

山隅青少年課長

既にご案内させていただいていますが、成人式がこの週明けの1月14日、成人の日に行われます。受付が9時15分からとなっております、開会が10時となっております。9時15分に大ホールの入り口に入っていただきまして、左側に来賓の受付を準備しておりますので、そちらの方においていただき、教育委員さんには地下の応接で待機ということで、よろしく申し上げます。

奥教育長

はい、14日の成人式について、出席よろしくお願いいたします。

他、ございませんか。

畑谷委員

最近の給食の献立表を見せていただきますと、色々工夫されていて、今月も新池中学校の子どもさんが考えたメニューとかがあって、献立表を見るのが楽しみになっています。先月は、給食の残食のコラムがありましたが、中学校毎に分かれて、どれだけ残しているのかが書かれており、すごく良いなと思いました。

ところで、小学校の残食はどのような状況でしょうか。意外と多いのでしょうか。

教教育総務課給食担当参事

今年度の中学校の残食率はかなり低く、平均で3%を切るぐらいになっています。特に、長南中学校が低く、1%を切るという状況になっております。委員ご質問の小学校ですが、中学校と同じよ

うに美味しい給食、安全安心な給食を作らせてもらっているのですが、なかなかそこまでいなくて、だいたい6%から7%という状況です。今後も、学校さんともちろん連携させていただいて、残食率を減らしていくよう努めてまいります。

奥教育長

よろしいですか。他、ございませんか。

中村委員

昨日か一昨日ぐらいから、下校時にアナウンスが流れているのに気づきました。たまたま昨日は、3時ぐらいに二小のアナウンスを聴きましたが、校歌のメロディが流れて、「見守りありがとうございます。」というアナウンスがあって、少し時間を置いて、もう1回同じセリフが流れていました。二小校区だから二小の子どもが担当しているのではなく、市内すべて同じ内容で順番に各学校が担当しているのですね。

木ノ元学校教育課長

一小から順番に担当で、25日まで13日間、それぞれの学校の校歌をバックに実施する形になっています。

畑谷委員

放送部の子どもさんがアナウンスしているのかなと思うぐらい、はっきりと良い感じで聴こえてきました。家の前に出て見守りをしようかなという気になりました。

奥教育長

ありがとうございます。良い取り組みだと、私も自負しておりまして、こうして、子どもたちがどんどん参加して、感謝の気持ちを表すことが大事だと思います。

他ございませんか。

無ければ、私の方から、来週15日に校園長会がございますけれども、そこでの指示・指導事項について説明させていただきます。

はじめに、年初めの挨拶ということで、今年はこういうふうにやりたいという方針などを話させてもらいます。

次に、いろいろと行事の紹介とお願いごとがあります。

一つ目が、1月19日の教育委員会表彰で、10時30分から生涯学習センターで行われます。

二つ目ですが、昨年度も学校訪問のご依頼がありました、中国四川省の成都市、成都市の新都区が友好都市提携先なのですが、そちらからでなく成都市の方となります、そちらの教育関係者とそのお隣の省の陝西省にある西安市、昔の長安があったところですが、その西安市からは児童約36人と教育関係者6名ということで、二つの小学校関係者が同時に本市を訪問してくれます。両者とも、1月22日の火曜日に長坂小学校へ訪問していただき、子どもたち同士の交流や教育関係者との意見交換等していただく予定としております。

今後、こういうふうなことは、また後にもありますけれども、段々増えてきて、更に国際的な意識が高まってくれたらと思っております。

三つ目が、私立の安松幼稚園の創立70周年の記念コンサートということで、2年に1回程度、コンサートをされているのですが、非常に素晴らしいコンサートで、学校の方にも案内していただいておりますので、それをお知らせさせていただきます。

四つ目が、「第6回さのリンピック」でございますが、2月16日の土曜日、9時から市民総合体育館で開催予定となっております。昨年初めて縄跳びということで実施させていただいたのですが、当初参加者が少なく、2次募集もしたのですが、100名を越えたぐらいでした。今回は早い時期から募集したのですが、12月の段階で60人弱ぐらいでありますので、再度また募集もさせてもらって、多かろうが少なからうが、とにかく体力向上に向けた行事として、これからも取り組んでいきたいと思っております。

五つ目の「あねフェスティバル」ですけれども、早いもので第7回を迎えまして、2月24日の日曜日、泉の森のレセプションホールで行われます。子どもたちの作品表彰並びに講演ということで、おもちゃ関係の専門家である岩城敏之氏による「笑って育む子どもの主体性」と題したご講演をいただきます。

最後、六つ目です。先程は中国との交流について申しましたけれども、こちらは、昨年11月13日に本市が友好都市提携を締結しました、ブラジルのサンパウロ州マリリア市になります。向こうの体育協会の日本語モデル校、日本語を学ぶ学校で、学生さんは5歳から50歳ぐらいまで幅広い年齢の方が学んでおられ、日系人の方もたくさんいらっしゃるようですけれども、その学校の方から、泉佐野市と学校関係でいろいろ交流したいという話がありました。次年度に向けて交流事業を実施していくということですので、紹介させてもらい、希望する学校があれば、そちらに訪問してもらおうかなと思っております。交流の中身は、なかなか行き来は難しいので、文通とかビデオレターなどを考えております。向こうのご希望では、小学校の高学年から中学生を希望されているみたいでして、そのような話をさせていただきます。

私からの報告については以上でございます。何かご質問ございませんか。

中村委員

広報で見たのですが、2月16日のさのリンピックと同じ日に、「スポGOMI大会」というゴミ拾いのイベントがあり、小学生も対象でしたよね。そちらに人数を取られるのではないかと少し心配になったのですが。

奥教育長

小学生だけでは参加できなくて、保護者と参加していただくということですので、人数を取られるということはあまりないと思っておりますけれど。

こちらは早くから日程を決めていたのですが、そういう行事があるということが分からなかったので、あちらが後ではないでしょうか。

谷口スポーツ推進担当理事

申し訳ありません。泉州マラソンの時にたくさんの方が走られるので、綺麗な泉佐野を見てもらう方がいいのではないかということで、マラソンの前に行くということで、この日程になりました。

奥教育長

他、ご質問ございませんか。

無ければ、本日の教育会議はこれで、にて終了させていただきます。次回は、2月の5日火曜日となっておりますので、またご予定の方よろしくお願い致します。それでは、これを持ちまして、会議は終了させていただきます。どうもありがとうございました。

(午後3時00分閉会)